

新総サッカー一部日誌

新座総合技術高等学校

サッカー部顧問 松村健

2021 Vol.14

2021年8月25日(水)

全国高校サッカー選手権大会埼玉県予選2回戦 @本庄東高校 9:30 KO

vs 本庄東高校

前半 0-1 22分失点(PK)

後半 0-3 59分失点(PK)、76分失点、80分失点

合計 0-4

選手権予選2回戦は、北部地区1部リーグに所属する本庄東高校との試合でした。今回のグループでのシード校です。相手を上回り、代表決定戦に進むために戦いました。

結果は0対4で敗戦。全体的に守備の時間が多くなるゲーム展開。前半は相手の攻撃をうまく誘導しながら、PKでの失点があったものの粘り強く守る。後半も前半と同じ試合展開。守備の時間が長くなったものの、集中してゲームを進める。しかし、59分に再びPKを与えてしまい、失点。飲水後、DFの枚数を削り得点を奪いに前に出るも、得点を奪えず終了前に2失点。

3年生を中心に、格上のシード校に対して果敢に戦っていたと思います。敗れはしましたが、選手たちは全員よく頑張っていました。個々の力を見ると、圧倒的な差があったものの、チーム全員での協力でその差を埋めようとする姿が見られました。「個々の力だけでは勝敗はわからない」のが、サッカーの面白さであり、敗れはしましたがそれを体現するゲームだったと思います。

ただ、負けてしまったことは事実であり、「よく戦った」「頑張った」で終わるのではなく、「自分たちに何が足りなかったのか」を考えることも大事なことです。それは選手だけでなく、スタッフも含めて全員です。必ず改善すべき点があり、考えなければいけません。「相手がうまかった」「体が強かった」などの理由を並べて、「よく頑張った」で終わることもできます。しかし、それではこれまで「部活」を取り組んできた意味がない、と私は思います。負けを認め、受け入れて自分たちの成長の糧にしなければいけないと思います。これまで継続して取り組んできたことを、成長につなげるためにしっかりと振り返りをして、次に進むことが大切だと思います。

9月からまたリーグ戦が再開します。リーグ戦の良いところは勝って終わることができるころだと思います。2020-21シーズンも残りわずかです。最後に全員で良い終わり方ができると良いなと思います。まだコロナ禍でどのようになるかわからない部分もありますが、やれることをみんなで力を合わせてやっていきたいと思っています。

保護者の皆様、OB・OGのみんな、日頃から多くのサポートをして頂き本当にありがとうございます。今大会も無観客での開催の中、応援ありがとうございました。日頃のサポート、応援がなければ大会を戦い抜くことはできませんでした。これからも、「観ている人の心を動かす試合」ができるように取り組んでいきます。残りのリーグ戦も応援を宜しくお願い致します。